

(0100025153-0)

市 長	副 市 長	建設部長	財政課長	主管課長	課長補佐	検査者	設計者
--------	-------------	------	------	------	------	-----	-----

工 種	河川工事	工 事 番 号		設 計 年 月 日	令和 7 年 9 月 2 日
工 事 箇 所					
路 線 ・ 河 川 名					
令和 7 年度 7 災第25001号河川災害復旧工事					
富谷市					
工 期	令和 年 月 日	着 工 期 日	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日	竣 工 期 限	令和 年 月 日		
本 工 事 費	円 (消費税相当額 円)		工 事 価 格 円		

< 概 要 >

復旧延長 L=16.5m
護岸工（コンクリートブロック積） A= 55 m2
植生工（張芝 野芝） A= 30 m2
仮設工 N= 1 式

本 工 事 内 訳 表

01:河川工事

費目・工種・細別等	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
築堤・護岸	式	1			
法覆護岸工	式	1			
河川土工	式	1			
床掘り 土砂 標準 土留:無し 障害無し	m3	40			第1号単価表
掘削 土砂 オープンカット 押土無し 障害無し 5,000m3未満	m3	50			第2号単価表
埋戻し 最大埋戻幅1m以上4m未満	m3	20			第3号単価表
路体（築堤）盛土 施工幅員2.5m未満	m3	6			第4号単価表
軟弱土等運搬 DID区間無し 運搬距離6.5km以下	m3	60			第5号単価表
発生土処分 安藤建設工業（株）	m3	60			
植生工	式	1			

本 工 事 内 訳 表

01:河川工事

費目・工種・細別等	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
法面整形 盛土部 砂質土、砂及び砂質土、粘性土 法面締固め有り 現場制約無し	m2	30			第6号単価表
法面工 人力植生工(市場単価)張芝工 施工規模100㎡未満 時間的制約無し	m2	30			第7号単価表
コンクリートブロック工	式	1			
大型化ブロック積み工	m2	55			第8号単価表
仮設工	式	1			
工事用道路工	式	1			
工事用道路工 処分込	式	1			第9号単価表
土留・仮締切工	式	1			
大型土のう製作・設置(バックホウ設置)	袋	4			第10号単価表
大型土のう撤去 作業半径6m以下	袋	4			第11号単価表

本 工 事 内 訳 表

01:河川工事

費目・工種・細別等	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
残土積込運搬	m3	3			第12号単価表
発生土処分 安藤建設工業（株）	m3	3			
暗渠排水管 据付・撤去 波状管及び網状管 呼び径450～600mm 継手材料費要	m	21			第13号単価表
処分費 廃プラスチック	m3	0.1			第14号単価表
水替工	式	1			
ポンプ設置・撤去	箇所	1			第15号単価表
ポンプ運転工(締切排水工) 排水量0～40m3/h未満 作業時排水 揚程10m以下 発動発電機使用	日				第16号単価表
安全工	式	1			
交通誘導警備員B	人				
直接工事費	式	1			

本 工 事 内 訳 表

01:河川工事

費目・工種・細別等	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
共通仮設費	式	1			
率計算分	式	1			
役務費	式	1			第1号明細表
現場環境改善費	式	1			
純工事費	式	1			
現場管理費	式	1			
率計算分	式	1			
工事原価	式	1			
一般管理費等	式	1			
一般管理費	式	1			

本 工 事 内 訳 表					
01:河川工事					
費目・工種・細別等	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
率計算分	式	1			
契約保証費	式	1			
工事価格	式	1			
消費税等相当額	式	1			
本工事費	式	1			

第1号

役務費 1式当たり明細表

名称 ・ 規格 ・ 条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
借地料 2 か月	m2	95				
合 計	式	1				

第1号 SPG2103010 J01 床掘り 1m3当たり単価表 土砂 標準 土留:無し 障害無し II-1-③-4						
名称 ・ 規格 ・ 条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
バックホウ[クローラ型] 山積0.8m3(平0.6m3)	日					通期
運転手(特殊)	人					通期
軽油 バックホウ給油 1.2号	L					
施工パッケージ単価	m3	1				
合 計	m3	1				
土質A = 01 土砂 施工方法B = 01 標準			土留方式の種類C = 01 無し 障害の有無D = 01 無し			

第2号 SPG2102010 J01

掘削 1m3当たり単価表

土砂 オープンカット 押土無し 障害無し
5,000m3未満
Ⅱ-1-②-7

名称 ・ 規格 ・ 条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
バックホウ(クローラ型)損料 標準型・超低騒音型・排対型(第3次基準値) 山積0.8m3(平積0.6m3)	供用日					
運転手(特殊)	人					通期
軽油 ハトロール給油 1.2号	L					
施工パッケージ単価	m3	1				
合 計	m3	1				
土質A = 01 土砂 施工方法B = 01 オープンカット 押土の有無C = 02 無し			障害の有無D = 01 無し 施工数量E = 03 5,000m3未満			

第3号の1 SPG2103050 J01						埋戻し 1m3当たり単価表		最大埋戻幅1m以上4m未満 Ⅱ-1-③-13		
名称 ・ 規格 ・ 条件	単位	数	量	単	価	金	額	雑	摘	要
バックホウ[クローラ型] 山積0.8m3(平0.6m3)	日								通期	
振動ローラ[舗装用](ハンドガイト式) 運転質量0.5～0.6t	日								通期	
タンバ 60～80kg	日								通期	
普通作業員	人								通期	
特殊作業員	人								通期	
運転手(特殊)	人								通期	
軽油 ハンドロール給油 1.2号	L									
ガソリン レギュラー	L									
施工パッケージ単価	m3	1								
合 計	m3	1								

第3号の2 SPG2103050 J01

埋戻し 1m3当たり単価表

最大埋戻幅1m以上4m未満

Ⅱ-1-③-13

名称 ・ 規格 ・ 条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
施工方法A = 03 最大埋戻幅1m以上4m未満						

第4号 SPG2102040 J01						路体（築堤）盛土 1m3当たり単価表		施工幅員2.5m未満				
						Ⅱ-1-②-22						
名称 ・ 規格 ・ 条件			単位	数	量	単	価	金	額	雑	摘	要
振動ローラ[舗装用](ハンドガレック式)												
運転質量 0.8～1.1t			日								通期	
普通作業員			人								通期	
特殊作業員			人								通期	
軽油 ハンドロール給油 1.2号			L									
施工パッケージ単価			m3		1							
合 計			m3		1							
施工幅員A = 01 2.5m未満												

第5号 SPG3209020 J01 軟弱土等運搬 1m3当たり単価表 DID区間無し 運搬距離6.5km以下 Ⅲ-2-⑦-2						
名称 ・ 規格 ・ 条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
ダンプトラック損料 オンロード・デイスル 10t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	供用日					
運転手(一般)	人					通期
軽油 ハトロール給油 1.2号	L					
施工パッケージ単価	m3	1				
合 計	m3	1				
DID区間の有無A = 01 無し			運搬距離(1)B = 06	6.5km以下		

第6号 SPG2201010 J01

法面整形 1m2当たり単価表

盛土部 け質土、砂及び砂質土、粘性土
法面締固め有り 現場制約無し
II-2-①-4

名称 ・ 規格 ・ 条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
バックホ[クローラ型] 山積0.8m3(平0.6m3)	日					通期
普通作業員	人					通期
運転手(特殊)	人					通期
土木一般世話役	人					通期
軽油 ハトール給油 1.2号	L					
施工パッケージ単価	m2	1				
合 計	m2	1				
整形箇所A = 01 盛土部 法面締固めの有無B = 01 有り			現場制約の有無C = 02 無し 土質D = 02 け質土、砂及び砂質土、粘性土			

第7号 S620614 J01 法面工 人力植生工(市場単価)張芝工 1m2当たり単価表 施工規模100㎡未満 時間的制約無 VI-2-④-1						
名称 ・ 規格 ・ 条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
法面工(張芝工) 野芝・高麗芝 (全面張)	m2	1				通期
合 計	m2	1				
規格・仕様区分A = 03 張芝工 [S]施工規模B = 04 100㎡未満			[K1]時間的制約C = 01 無			

第8号の1 大型化ブロック積み工 55m2当たり単価表						
名称 ・ 規格 ・ 条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
間知ブロック積 鉄筋不要	m2	55				第17号単価表
胴込・裏込材（碎石） 間知・平・連節・緑化ブロック 再生碎石 RC-40	m3	39				第18号単価表
現場打天端コンクリート 一般養生 18-8-40（高炉）	m3	1				第19号単価表
型枠 一般型枠 小型構造物	m2	4				第20号単価表
樹脂発泡体目地板 厚10mm 15倍	m2	1				
現場打基礎コンクリート 基礎碎石有り 一般養生・特殊養生（練炭） 18-8-40（高炉）	m3	1				第21号単価表
型枠 一般型枠 小型構造物	m2	6				第20号単価表
基礎碎石 厚さ17.5cmを超え20.0cm以下 再生クラッシュラン 40～0	m2	10				第22号単価表
基面整正	m2	10				第23号単価表
合 計	m2	55				

第8号の2

大型化ブロック積み工 55m2当たり単価表

名称 ・ 規格 ・ 条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
単位当り	m2	1				

第9号 工事用道路工 1式当たり単価表 処分込						
名称 ・ 規格 ・ 条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
土木シート ポリプロピレン	m2	216				
山砂 不洗	m3	30				
再生クラッシャーラン RC-40	m3	14				
路体（築堤）盛土 施工幅員2.5m未満	m3	30				第4号単価表
整地 残土受入れ地での処理	m3	14				第24号単価表
掘削 土砂 オープンカット 押土無し 障害無し 5,000m3未満	m3	45				第2号単価表
土砂等運搬 標準 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) DID区間無し 運搬距離5.5km以下	m3	45				第25号単価表
発生土処分 安藤建設工業（株）	m3	45				
合 計	式	1				

第10号 S251210 J02 大型土のう製作・設置(バックホウ設置) 10袋当たり単価表 Ⅱ-5-⑩-6						
名称 ・ 規格 ・ 条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
土木一般世話役	人					通期
特殊作業員	人					通期
普通作業員	人					通期
大型土のう 容量1m3	袋	10				
土砂	m3	10				
バックホウ(クローラ型)運転(賃料) 山積0.80m3(平積0.60m3)2.9t吊	日					第26号単価表
諸雑費	%	4				
合 計	袋	10				
単位当り	袋	1				

第11号 S251218 J02 大型土のう撤去 10袋当たり単価表 作業半径6m以下 Ⅱ-5-⑩-8						
名称 ・ 規格 ・ 条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
土木一般世話役	人					通期
特殊作業員	人					通期
バックホ(クローラ型)運転(賃料) 山積0.80m3(平積0.60m3)2.9t吊	日					第27号単価表
諸雑費	式	1				
合 計	袋	10				
単位当り	袋	1				
作業半径A = 01 6m以下						

第12号 残土積込運搬 100m3当たり単価表						
名称 ・ 規格 ・ 条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
積込（ルーズ） 土砂 土量50,000m3未満	m3	100				第28号単価表
軟弱土等運搬 DID区間無し 運搬距離6.5km以下	m3	100				第5号単価表
合 計	m3	100				
単位当り	m3	1				

第13号 SPG2210030 J04		暗渠排水管 1m当たり単価表				据付・撤去 波状管及び網状管 呼び径450～600mm 継手材料費要 Ⅱ-2-⑩-12	
名称 ・ 規格 ・ 条件		単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
普通作業員		人					通期
土木一般世話役		人					通期
暗渠排水管		m					
施工パッケージ単価		m	1				
合 計		m	1				
作業区分A = 03 据付・撤去 管種別B = 02 波状管及び網状管				呼び径C = 03 継手材料費D = 01	450～600mm 要		

第14号 処分費 1m3当たり単価表 廃プラスチック						
名称 ・ 規格 ・ 条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
現場発生品及び支給品運搬 トラック[クレーン装置付]ベーストラック2t級、吊能力2.9t DID区間無し 片道運搬距離8.5km以下	t	0.35				第29号単価表
建設廃棄物処理費 中間処理・再生資源化施設 仙台 (株)クリーンライフ 本社工場 廃プラスチック(発泡スチロールは別途)	m3	1				
合 計	m3	1				

第15号 S251002 J01 ポンプ設置・撤去 1箇所当たり単価表						
II-5-⑧-3						
名称 ・ 規格 ・ 条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
土木一般世話役	人					通期
特殊作業員	人					通期
普通作業員	人					通期
バックホウ(クローラ型)運転(賃料) 山積0.80m3(平積0.60m3)2.9t吊	日					第30号単価表
諸雑費	式	1				
合 計	箇所	1				

第16号 S251000 J01

ポンプ運転工(締切排水工) 1日当たり単価表

排水量0～40m³/h未満 作業時排水
揚程10m以下 発動発電機使用
Ⅱ-5-⑧-3

名称 ・ 規格 ・ 条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
特殊作業員	人					通期
工事用水中モータポンプ運転 揚程10m以下 電力を計上しない φ150mm×1台	日					第31号単価表
発動発電機運転(賃料) 25kVA ディーゼル駆動(排対型含む)	日					第32号単価表
諸雑費	%	3				
合 計	日	1				
排水量(m ³ /h) A = 01 0～40m ³ /h未満 排水種別B = 01 作業時排水			ポンプ 揚程C = 01 10m以下			

間知ブロック積 1m2当たり単価表							鉄筋不要
第17号 SPG2203010 J04							II-2-③-7
名称 ・ 規格 ・ 条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要	
バックホウ[クローラ型クレーン付] 山積0.8m3吊2.9t	日					通期	
運転手(特殊)	人					通期	
ブロック工	人					通期	
普通作業員	人					通期	
土木一般世話役	人					通期	
間知ブロック	m2						
軽油 ハトロール給油 1.2号	L						
施工パッケージ単価	m2	1					
合 計	m2	1					
鉄筋規格A = 06 鉄筋不要							

第18号 SPG2203090 J03		胴込・裏込材（碎石） 1m3当たり単価表			間知・平・連節・緑化ブロック 再生碎石 RC-40 Ⅱ-2-③-19	
名称・規格・条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
バックホウ[クローラ型クレーン付] 山積0.8m3吊2.9t	日					通期
普通作業員	人					通期
特殊作業員	人					通期
運転手(特殊)	人					通期
再生クラッシャーラン RC-40	m3					
軽油 バックホウ給油 1.2号	L					
施工パッケージ単価	m3	1				
合 計	m3	1				
ブロックの種類A = 01 間知・平・連節・緑化ブロック			胴込・裏込材規格B = 01	再生碎石 RC-40		

第19号 SPG2203140 J01 現場打天端コンクリート 1m3当たり単価表 一般養生 18-8-40(高炉) II-2-③-26						
名称 ・ 規格 ・ 条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
バックホ[クローラ型クレーン付] 山積0.8m3吊2.9t	日					通期
型わく工	人					通期
普通作業員	人					通期
土木一般世話役	人					通期
特殊作業員	人					通期
生コンクリート 高炉B 18-8-40	m3					
軽油 ハトロール給油 1.2号	L					
施工パッケージ単価	m3	1				
合 計	m3	1				
生コンクリート規格A = 04 18-8-40(高炉)			養生工の種類B = 01	一般養生		

第20号 SPG2402010 J01 型枠 1m2当たり単価表							一般型枠 小型構造物 Ⅱ-4-②-2
名称 ・ 規格 ・ 条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要	
型わく工	人					通期	
普通作業員	人					通期	
土木一般世話役	人					通期	
施工パッケージ単価	m2	1					
合 計	m2	1					
型枠の種類A = 01 一般型枠			構造物の種類B = 02	小型構造物			

第21号の1 SPG2203130 J01

現場打基礎コンクリート 1m3当たり単価表

基礎碎石有り 一般養生・特殊養生(練炭)
18-8-40(高炉)
Ⅱ-2-③-23

名称 ・ 規格 ・ 条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
バックホウ[クローラ型クレーン付] 山積0.8m3吊2.9t	日					通期
バックホウ[クローラ型] 山積0.8m3(平0.6m3)	日					通期
普通作業員	人					通期
型わく工	人					通期
特殊作業員	人					通期
土木一般世話役	人					通期
生コンクリート 高炉B 18-8-40	m3					
軽油 ハトロール給油 1.2号	L					
施工パッケージ単価	m3	1				
合 計	m3	1				

第21号の2 SPG2203130 J01

現場打基礎コンクリート 1m3当たり単価表

基礎碎石有り 一般養生・特殊養生(練炭)
18-8-40(高炉)
Ⅱ-2-③-23

名称 ・ 規格 ・ 条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
生コンクリート規格A = 04 18-8-40(高炉) 基礎碎石の有無B = 01 有り			養生工の種類C = 01	一般養生・特殊養生(練炭)		

第22号 SPG2202010 J01

基礎砕石 1m2当たり単価表

 厚さ17.5cmを超え20.0cm以下
 再生クラッシャー 40～0
 II-2-②-2

名称 ・ 規格 ・ 条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
バックホウ[クローラ型] 山積0.8m3(平0.6m3)	日					通期
普通作業員	人					通期
特殊作業員	人					通期
運転手(特殊)	人					通期
土木一般世話役	人					通期
再生クラッシャー RC-40	m3					
軽油 バックホウ給油 1.2号	L					
施工パッケージ単価	m2	1				
合 計	m2	1				
砕石の厚さA = 04 17.5cmを超え20.0cm以下			砕石の種類B = 08	再生クラッシャー 40～0		

基面整正 1m2当たり単価表

II-1-③-7

[illegible]

第24号 SPG2102030 J01 整地 1m3当たり単価表 残土受入れ地での処理 II-1-②-20						
名称 ・ 規格 ・ 条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
バックホウ[クローラ型] 山積0.8m3(平0.6m3)	日					通期
運転手(特殊)	人					通期
軽油 バックホウ給油 1.2号	L					
施工パッケージ単価	m3	1				
合 計	m3	1				
作業区分A = 01 残土受入れ地での処理						

第25号 SPG2102020 J01

土砂等運搬 1m3当たり単価表

標準 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3)
 DID区間無し 運搬距離5.5km以下
 II-1-②-13

名称 ・ 規格 ・ 条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
ダンプトラック損料 オンロード・デイスル 10t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	供用日					
運転手(一般)	人					通期
軽油 ハトロール給油 1.2号	L					
施工パッケージ単価	m3	1				
合 計	m3	1				
土砂等発生現場A = 01 標準 積込機種・規格B = 01 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) 土質C = 01 土砂(岩塊・玉石混り土含む)			DID区間の有無D = 01 無し 運搬距離(1)E = 08 5.5km以下			

第26号 S028030 J03 バックホウ(クローラ型)運転(賃料) 1日当たり単価表 山積0.80m3(平積0.60m3)2.9t吊						
名称 ・ 規格 ・ 条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
運転手(特殊)	人					通期
軽油 バックホウ給油 1.2号	L	104				
バックホウ[クローラ型クレーン付] 山積0.8m3吊2.9t	日					通期
諸雑費	式	1				
合 計	日	1				
規格A = 03 山積0.80m3(平積0.60m3)2.9t吊 運転労務数量B = 1			燃料消費量C = 104 賃料数量D = 1.39			

第27号 S028030 J04 バックホウ(クローラ型)運転(賃料) 1日当たり単価表 山積0.80m3(平積0.60m3)2.9t吊						
名称 ・ 規格 ・ 条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
運転手(特殊)	人					通期
軽油 バックホウ給油 1.2号	L	78				
バックホウ[クローラ型クレーン付] 山積0.8m3吊2.9t	日					通期
諸雑費	式	1				
合 計	日	1				
規格A = 03 山積0.80m3(平積0.60m3)2.9t吊 運転労務数量B = 1			燃料消費量C = 78 賃料数量D = 1.26			

第28号 SPG2102070 J01		積込 (ルーズ) 1m3当たり単価表				土砂 土量50,000m3未満 Ⅱ-1-②-27	
名称 ・ 規格 ・ 条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要	
バックホウ(クローラ型)損料 標準型・排出ガス対策型(2014年規制) 山積0.8m3(平積0.6m3)	供用日						
運転手(特殊)	人					通期	
軽油 ハトロール給油 1.2号	L						
施工パッケージ単価	m3	1					
合 計	m3	1					
土質A = 01 土砂			作業内容B = 01	土量50,000m3未満			

現場発生品及び支給品運搬 1 t 当たり単価表						
第29号 SPG1203020 J01 トラック[クレーン装置付]ベーストラック2t級、吊能力2.9t DID区間無し 片道運搬距離8.5km以下 I-2-③-3						
名称 ・ 規格 ・ 条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
トラック損料 クレーン装置付 ベーストラック2t積 吊能力2.9t	供用日					
運転手(特殊)	人					通期
特殊作業員	人					通期
軽油 パトロール給油 1.2号	L					
施工パッケージ単価	t	1				
合 計	t	1				
トラック機種A = 01 トラック[クレーン装置付]ベーストラック2t級、吊能力2.9t DID区間の有無B = 01 無し			片道運搬距離(1)(km)C = 04	8.5km以下		

第30号 S028030 J02 バックホウ(クローラ型)運転(賃料) 1日当たり単価表 山積0.80m3(平積0.60m3)2.9t吊						
名称 ・ 規格 ・ 条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
運転手(特殊)	人					通期
軽油 バックホウ給油 1.2号	L	65				
バックホウ[クローラ型クレーン付] 山積0.8m3吊2.9t	日					通期
諸雑費	式	1				
合 計	日	1				
規格A = 03 山積0.80m3(平積0.60m3)2.9t吊 運転労務数量B = 1			燃料消費量C = 65 賃料数量D = 1.16			

第31号 S030000 J01

工事用水中ポンプ運転 1日当たり単価表

揚程10m以下 電力を計上しない
φ 150mm×1台

名称 ・ 規格 ・ 条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
工事用水中ポンプ（潜水ポンプ） 口径150mm 揚程10m 7.5KW	日					通期
諸雑費	式	1				
合 計	日	1				
規格, 台数A = 01 φ 150mm×1台 ポンプ 揚程B = 01 10m以下 電源区分C = 01 電力を計上しない			賃料数量D = 1.2 電力消費量E = 0			

第32号 S016020 J01

発動発電機運転(賃料) 1日当たり単価表

25kVA ディーゼル駆動(排対型含む)

名称 ・ 規格 ・ 条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
軽油 バトリール給油 1.2号	L	22				
発動発電機[ディーゼル駆動] 25kVA 31.3ps	日					通期
諸雑費	式	1				
合 計	日	1				
規格A = 08 25kVA ディーゼル駆動(排対型含む) 燃料消費量B = 22			賃料数量C = 1.2			

省 略 単 価 一 覧 表

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
発生土処分	安藤建設工業（株）	m3					
土木シート	ポリプロピレン	m2					
発生土処分	安藤建設工業（株）	m3					
借地料	2 か月	m2					

単 価 一 覧 表

名称 ・ 規格 ・ 条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
床掘り 土砂 標準 土留:無し 障害無し	m3					第1号
掘削 土砂 オープンカット 押土無し 障害無し 5,000m3未満	m3					第2号
埋戻し 最大埋戻幅1m以上4m未満	m3					第3号
路体（築堤）盛土 施工幅員2.5m未満	m3					第4号
軟弱土等運搬 DID区間無し 運搬距離6.5km以下	m3					第5号
法面整形 盛土部 粘性土、砂及び砂質土、粘性土 法面締固め有り 現場制約無し	m2					第6号
法面工 人力植生工(市場単価)張芝工 施工規模100㎡未満 時間的制約無	m2					第7号
大型化ブロック積み工	m2					第8号
工事用道路工 処分込	式					第9号
大型土のう製作・設置(バックホウ設置)	袋					第10号

単 価 一 覧 表

名称 ・ 規格 ・ 条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
大型土のう撤去 作業半径6m以下	袋					第11号
残土積込運搬	m3					第12号
暗渠排水管 据付・撤去 波状管及び網状管 呼び径450～600mm 継手材料費要	m					第13号
処分費 廃プラスチック	m3					第14号
ポンプ設置・撤去	箇所					第15号
ポンプ運転工(締切排水工) 排水量0～40m3/h未満 作業時排水 揚程10m以下 発動発電機使用	日					第16号
間知ブロック積 鉄筋不要	m2					第17号
胴込・裏込材(砕石) 間知・平・連節・緑化ブロック 再生砕石 RC-40	m3					第18号
現場打天端コンクリート 一般養生 18-8-40(高炉)	m3					第19号
型枠 一般型枠 小型構造物	m2					第20号

単 価 一 覧 表

名称 ・ 規格 ・ 条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
現場打基礎コンクリート 基礎碎石有り 一般養生・特殊養生(練炭) 18-8-40(高炉)	m3					第21号
基礎碎石 厚さ17.5cmを超え20.0cm以下 再生クラッシュラン 40～0	m2					第22号
基面整正	m2					第23号
整地 残土受入れ地での処理	m3					第24号
土砂等運搬 標準 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) DID区間無し 運搬距離5.5km以下	m3					第25号
バックホウ(クローラ型)運転(賃料) 山積0.80m3(平積0.60m3)2.9t吊	日					第26号
バックホウ(クローラ型)運転(賃料) 山積0.80m3(平積0.60m3)2.9t吊	日					第27号
積込 (ルーズ) 土砂 土量50,000m3未満	m3					第28号
現場発生品及び支給品運搬 トラック[クレーン装置付]ベーストラック2t級、吊能力2.9t DID区間無し 片道運搬距離8.5km以下	t					第29号
バックホウ(クローラ型)運転(賃料) 山積0.80m3(平積0.60m3)2.9t吊	日					第30号

単 価 一 覧 表

名称 ・ 規格 ・ 条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
工事用水中ポンプ 運転 揚程10m以下 電力を計上しない φ150mm×1台	日					第31号
発動発電機運転(賃料) 25kVA ディーゼル駆動(排対型含む)	日					第32号
発生土処分 安藤建設工業 (株)	m3					
土木シート ポリプロピレン	m2					
発生土処分 安藤建設工業 (株)	m3					
借地料 2 か月	m2					

積 算 情 報 表

(0100025153-0)

P. 49

項 目	内 容	項 目	内 容
積算区分	実施	週休2日の補正	1：工期全体（通期）の週休2日
変更回数	当初	（週休2日）共通仮設費	1.02
積算基準パターン	40:令和6年度国交省諸経費改訂(消費税10%)R6週休2日補正	（週休2日）現場管理費	1.03
施行主体名	富谷市	（週休2日）機械経費係数	1.02
設計書名(1行目)	7 災第25001号河川災害復旧工事	（週休2日）労務単価係数	1.02
設計書名(2行目)		（週休2日）交替制工事	なし
設計書名(3行目)		（週休2日）市場単価係数	適用する
工事箇所		一般管理費補正率	0%
路線・河川名		契約保証費率	金銭的保証
工事番号		着工年月日	令和 年 月 日
設計年度	令和07年度	竣工期限	令和 年 月 日
設計年月日	令和07年09月02日	工期開始	令和 年 月 日
単価適用日付	令和07年09月01日（83）	工期終了	令和 年 月 日
単価適用地区	01 地区	工期日数	0日
適用率(工種区分)	01 河川工事	工種名	河川工事
間接工事費の被災地補正	3：復興係数（令和5年）	請負人	
前払金支出割合区分	35%を超える		
共通仮設費補正	補正しない		
現場環境改善費	計上する		
現場環境改善費地域	大都市・市街地以外		
現場管理地域補正	補正しない		
現場管理費率の補正(施工時期)	なし		

— 特 記 仕 様 書 —

令和7年4月1日以降公告案件から適用

施 工 条 件 明 示 書

工事番号		工事名	7災第25001号河川災害復旧工事		事務所名				
項 目		条 件	内 容			施 工 方 法		備 考	
1 共通仕様書の適用		本工事は、宮城県土木部制定「共通仕様書」を適用するほか、本特記仕様書により施工するものとする。 仕様書の記載内容の優先は、「特記仕様書」「共通特記仕様書」「共通仕様書」の順とする。							
2 主任技術者及び監理技術者（以下、配置技術者という。）の配置									
(1) 現場施工に着手する日の指定 （配置技術者の配置要件の特例） ※平成25年4月1日以降適用「現場施工の着手日を指定した工事における配置技術者の配置要件の特例について」		☐	契約工期初日以降、90日以内に着手 （手持ち工事が完了した場合や、制約条件がない場合等は、期日以前の着手も可能）						
(2) 請負者が着手日を選択出来る工事（フレックス工事）		☐	契約工期初日以降、〇〇日以内に着手 土木工事共通特記仕様書第1編1－1－4によること。						
(3) 上記以外		☒	請負者は、現場施工に着手する日の指定がない限り、原則として、契約工期初日以降、30日以内に現場施工に着手						
		上記現場施工に着手する日の前日までの期間において、工事準備等を含め工事現場が不稼働であることが明確な場合は、配置技術者の工事現場への専任は要しない。 出納局契約課ホームページ参照のこと。http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/keiyaku/kk50.html							
3 専任特例の適用を受ける技術者の配置									
		建設業法第26条第3項ただし書の規程（以下「専任特例」という。）の適用を受ける主任技術者又は監理技術者を配置する場合は、下記によるものとする。 1 専任特例の適用を受ける主任技術者又は監理技術者を配置する場合、適用要件について以下の出納局契約課ホームページを参照すること。 https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/keiyaku/kk50.html 2 本工事の主任技術者又は監理技術者が専任特例の適用を受ける場合、落札候補者となった際に確認事項兼誓約書を提出すること。 3 本工事において、専任特例の適用を受ける主任技術者又は監理技術者の配置を行う場合又は配置を要さなくなった場合は適切にコリンズ（C ORIINS）への登録を行うこと。							
4 積算基準及び設計単価の適用期日									
(1) 積算基準及び設計単価の適用について		☐ ある	☒ ない	積算基準及び設計単価は公告日の前月の基準及び単価としている。					
(2) 工事請負契約締結後における設計単価の変更		☒ ある	☐ ない	本工事は、当初工事請負契約締結後において、契約日を基準日として設計単価の設計変更を行うこととする。 なお、設計変更の対象は、資材単価・労務単価及び機械単価等の全ての設計単価とする。 ただし、災害に伴う応急仮工事など緊急を要す工事において、積算月と契約月が同月となる場合など、工事請負契約締結後における設計単価の変更が必要ないと判断される場合においては、適用「なし」を選択することも可能とし、その場合は下欄にその理由を記載する。					
		適用「なし」の理由		（例） ・本工事は災害に伴う応急仮工事であり、積算及び契約が同月となる見込みであるため。					
5 工程関係									
(1) 関連工事による施工時期の調整		☐ ある	☒ ない						
(2) 施工時期による制限		☒ ある	☐ ない	非出水期施工 稲刈りが完了後の着手					
(3) 関係機関等との協議の未成立		☐ ある	☒ ない						
(4) 関係機関等との協議結果、特定条件の付加		☐ ある	☒ ない						
6 公害対策関係									
(1) 施工方法、機械施設、作業時間等の制限		☐ ある	☒ ない						
7 安全対策関係									
(1) 交通安全施設等の指定		☐ ある	☒ ない						
(2) 占用埋設物との近接工事による 施工方法、作業時間の制限		☐ ある	☒ ない						
8 排水工関係									
(1) 濁水、湧水処理のための特別な対策の必要性		☐ ある	☒ ない						
9 建設副産物対策関係（建設発生土）									
(1) 建設発生土の処理・処分について		本工事の残土は、下記に運搬するものとする。なお、下記により難い場合が生じたときは、監督職員の指示によるものとし、設計変更の対象とする。							
				処理・処分場所		処理・処分方法	距 離	制 限 時 間	備 考
				名称 所在地					
(2) 建設発生土	処理・処分	☒ ある	☐ ない	安藤建設工業（株）	富谷市 石積道栗30	残土処理	4.6 km	時 分 ～ 時 分	

10 建設副産物対策関係(建設発生土以外の建設副産物)										
(1) 建設発生土以外の建設副産物の処理・処分について			下記の処理・処分は設計積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、下記によらない場合は、監督職員と協議すること。また、処理・処分に先立ち処分場等の受入れの可否を確認すること。なお、廃棄物の処理に当たっては「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」を遵守すること(環境省または循環型社会推進課のHPを参照)。							
			処理・処分する場所		処理・処分方法		距 離	制 限 時 間		
			工事現場内及び工事現場間で再利用する場合は、施工管理及び契約方法等について、施工計画打合せ時に監督職員と協議すること。							
(2) 建設発生土以外の建設副産物	処理・処分	コンクリート塊	○ある	●ない				km	時 分 ～ 時 分	
		アスファルト塊	○ある	●ない				km	時 分 ～ 時 分	
		建設発生木材	○ある	●ない				km	時 分 ～ 時 分	
		建設汚泥	○ある	●ない				km	時 分 ～ 時 分	
		その他	●ある	○ない	(株)クリーンライフ	富谷市ひやり台2丁目1-2	中間処理・再生自然化施設	km	時 分 ～ 時 分	
(3) 再生材の利用			●ある	○ない	種類・数量		RC-40 V=39m3			
11 現場環境改善			●ある	○ない	内容 看板の設置(週休2日PR)					
					別図1を参考に工事現場に週休2日工事であることを明記したPR看板を設置するものとする。 現場環境改善の具体的な実施内容、実施期間については、施工計画書に明記し、監督職員と協議すること。					
12 品質証明										
(1) 品質証明書および施工プロセス品質確認チェックリストの対象			○ある	●ない	請負工事費が、1億5千万円以上の工事および発注者が必要と認める工事。 土木工事共通特記仕様書第3編1-1-9および品質証明実施要領によること。					
(2) 施工プロセス品質確認チェックリストの対象			○ある	●ない	上記に該当せず、請負工事費が1億円以上の工事。 土木工事共通特記仕様書第3編1-1-9および品質証明実施要領によること。					
13 標準的な設計図書による発注方式			○ある	●ない	土木工事共通特記仕様書第3編1-1-14によること。					
14 資材関係										
(1) 生コンクリート			生コンクリートの使用に当たっては、「宮城県生コンクリート品質管理監査会議」が交付する「品質管理監査合格証」を有する工場の製品、又は同等以上の品質管理を行っていることが認められる工場の製品を使用すること。							
(2) 購入土			購入土を使用する場合は、材料承諾時に「採石法第33条による採取計画認可書の写し」、又は「砂利採取法第16条の採取計画認可書の写し」を提出すること。							
(3) 宮城県グリーン製品の利用 「宮城県グリーン製品」利用推進指針によること。「宮城県グリーン製品」を使用した場合は、請負者は循環型社会推進課HPより「チェックリスト」をダウンロードし、使用材料や数量等を入力後、工事完了後に監督職員に提出(電子メール)すること。			必須		1. 植生基盤材等、視線誘導標、型枠用合板は、原則として宮城県グリーン製品を用いること。					
			○ある	●ない	2. 盛土材、埋め戻し材					
			○ある	●ない	3. その他()					
(4) 県内産製品の使用			○ある	●ない	本工事は、「県土木部発注工事における県内産製品優先使用の試行要領」の対象工事である。 工事の施工にあたっては、試行要領に基づき適切に実施すること。 事業管理課ホームページ参照 http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jigyokanri/kensanzai.html					
(5) 現場吹付法枠工			吹付モルタルにおける圧縮強度の規格値は、18N/mm2以上とする。							
15 設計変更の手続き										
(1) 設計変更の手続きについて			設計変更については、工事請負契約書第19条～第26条及び共通仕様書第1編1-1-1-14～1-1-1-16に記載しているところであるが、その具体的な考え方や手続きについては、「工事請負契約における設計変更ガイドライン」(宮城県土木部)によることとする。							
			詳細については、以下のホームページ「設計変更ガイドライン【土木工事,建設関連業務】」を参考とすること。 https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jigyokanri/henkou-guideline.html トップページ>しごと・産業>土木・建築・不動産>建設業>設計変更ガイドライン【土木工事,建設関連業務】							
16 その他										
(1) 舗装の下請制限について			○ある	●ない	土木工事共通特記仕様書第1編1-1-3によること。					
(2) 「ダンプ土砂運搬等下請を行う工事における工事費内訳調査」の対象の有無			○ある	●ない	本工事は「ダンプ土砂運搬等下請を行う工事における工事費内訳調査」の対象工事であり、請負者は、調査票等に必要事項を正確に記入し発注者に提出する他、ダンプ土砂運搬等下請負契約に関する関係書類を提出すること。 請負者が本工事の一部について下請契約を締結する場合には、請負者は、当該工事の受注者(当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む)も同様の義務を負う旨を周知すること。					
(3) 三者会議の対象の有無			○ある	●ない	本工事は、工事着手前等に当該工事の発注者、施工者、詳細設計等を担当した設計者が参加して、設計図書と現場の整合性の確認及び設計意図の伝達等を行う「三者会議」を設置する対象工事である。 土木工事共通特記仕様書第3編1-1-5によること。					
(4) 貸与資料の有無			●ある	○ない	本仕様書によるもののほか工事施工に関して必要な資料として工事契約後下記の資料を貸与する。 貸与資料(令和7年度 河川災害復旧測量設計業務(その1)(緊急)の成果品)					
(5) 発注者支援(工事監督支援業務)対象の有無			○ある	●ない	工事監督支援業務の受注者が現場監督支援する場合、工事請負者対し「工事打合せ簿」により担当技術者(所属会社等名・氏名)の通知を行うこと。					
(6) 法定外の労災保険の付保について			本工事では、法定外の労災保険加入にかかる保険料を予定価格に反映しているため、本工事において受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。なお、加入後受注者は、工事請負契約書第62条に基づき、証券又はこれに代わるものを直ちに発注者に提示すること。							
(7) 熱中症対策に資する現場管理費補正の試行の有無			●ある	○ない	本工事は熱中症対策に資する現場管理費率の補正の試行対象工事である。本運用による設計変更を希望する場合は、別途定める「熱中症対策に資する現場管理費補正の試行要領」に基づき、発注者に協議すること。					

働き方改革・生産性向上に関する事項

項 目	条 件	内 容
17 総合評価落札方式における「ICT施工・3次元化等の活用提案」の適用の有無		
(1)「ICT施工・3次元化等の活用提案」の適用工事	☐ 対象 ☒ 対象外	1. 対象工事の場合、活用する技術については、「ICT施工・3次元化等の活用提案 工事計画書」に基づき選択すること。 2. ICT施工・3次元化等の活用提案の適用の有無に係わらず、「ICT施工・3次元化等の活用提案 工事計画書」に記載の技術は、施工計画・技術提案等(いわゆる作文)の評価対象外とする。「(簡易型(施工計画型))」、「標準型」、「高度型」の場合 なお、「ICT施工・3次元化等の活用提案」の対象外工事の場合も、同様の取扱いとする。
(2)実施された技術についての費用計上(設計変更)	☐ 対象 ☒ 対象外	設計変更の積算手法については、総合評価落札方式の手引きのとおりとする。なお、(1)が対象外の場合は、当該項目も対象外となる。
18 業務効率化		
(1)工事情報共有システムの活用	☒ 対象 ☐ 対象外	本工事は工事情報共有システムの活用対象工事であり、請負者は工事着手時に別途定める「工事情報共有システム事前協議チェックシート」により、必要事項について監督職員と協議を行うこと。実施にあたっては「土木工事における工事情報共有システムの実施要領」及び「土木工事における工事情報共有システムの活用ガイドライン」に基づき行うこと。
(2)工事書類の簡素化の試行について	☐ あり ☒ なし	本工事は、工事書類の簡素化を目的とした試行対象工事である。実施にあたっては「宮城県土木部における工事書類簡素化の試行要領」に基づき行うこと。
(3)ウィークリースタンス等の推進		本工事は、受発注者協力のもと、建設業の魅力創出を図ることを目的にウィークリースタンス等の推進を図ることとし、「ウィークリースタンス等実施要領」に基づき、取組内容を受発注者間で協議及び共有し、工事を進めていくこととする。 詳細については、宮城県土木部事業管理課のホームページを参照すること。(http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jigyokanri/weekly.html)
19 週休2日工事の適用の有無		
(1)週休2日工事	☒ 対象 ☐ 実施困難工事	1. 週休2日対象工事の場合は、宮城県土木部「週休2日工事」実施要領に基づき、行うこととする。 なお、週休2日工事の種別及び区分については、下記(2)。(3)のとおりとする。 2. 改正労働基準法(平成30年6月成立)による罰則付きの時間外労働規制が建設業に適用されたことを踏まえ、週休2日の確保を目指し、「週休2日工事」での発注を原則とする。ただし、応急復旧工事など緊急工事の場合は、例外的に週休2日対象工事としないことも可能とする。その場合は「実施困難工事」として、下欄にその理由を記載する。 実施困難工事の理由 (例) ・応急復旧工事のため早期に工事を完成させる必要があり、週休2日の確保が困難なため
(2)週休2日工事の種別	☒ 現場閉 ☐ 交替制	現場閉所型:巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での事務作業を含めて、1日を通して現場や現場事務所を閉所する。 交 替 制 :現場閉所を行うことが困難な工事について、技術者及び技能労働者が交替しながら休日確保の取組を行う。
(3)週休2日工事の区分		週休2日工事の区分は「通期の週休2日」と「月単位の週休2日」に区分する。 当初発注においては「通期の週休2日」を指定、積算している。 「月単位の週休2日」は受注者の希望型とし、工事着手前に受発注者間で協議の上、実施の可否を決定する。なお、協議により「月単位の週休2日」を実施することとし、「月単位の週休2日」を達成した場合は、精算変更時に「月単位の週休2日」の補正係数に変更する。 「通期の週休2日」:対象期間全体で、4週8休相当以上の休日を取得したと認められる状態。 「月単位の週休2日」:対象期間の全ての月において、4週8休以上の休日を取得したと認められる状態。
20 女性活躍推進モデル工事の適用の有無		
(1)女性活躍推進モデル工事	☒ 対象 ☐ 対象外	実施にあたっては、宮城県土木部「女性活躍推進モデル工事」実施要領に基づき行うものとする。 実施要領は、宮城県ホームページ(https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jigyokanri/)で確認のこと。
21 下請承認事務簡素化モデル工事の適用の有無		
(1)下請承認事務簡素化モデル工事	☐ 対象 ☒ 対象外	実施にあたっては、発注者から工事打合せ簿により、「下請承認事務簡素化モデル工事」である旨を別途指示するものとする。

東日本大震災に伴う特例制度

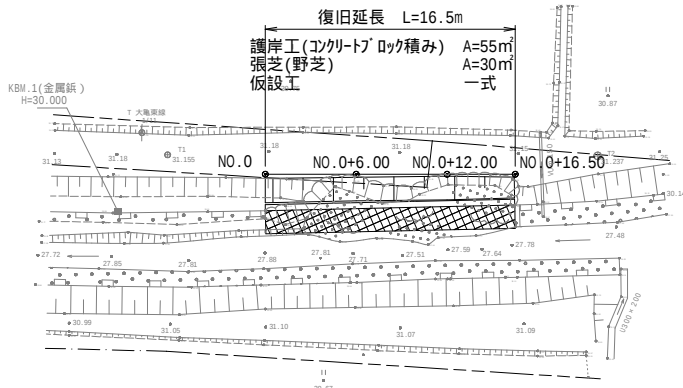
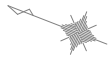
項 目		条 件	内 容	施 行 方 法	備 考
22 被災地以外からの労働者確保に要する間接費の設計変更の運用					
(1) 労働者確保に関する積算方法の試行工事	○ある	●ない	1 本工事は、「共通仮設費(率分)のうち営繕費」及び「現場管理費のうち労務管理費」の下記に示す費用(以下「実績変更対象間接費」という。)について、契約締結後、労働者確保に要する方策に変更が生じ、宮城県土木部においては土木工事標準積算基準(宮城県土木部)に基づく金額相当では適正な工事の実施が困難になった場合は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて最終積算変更時点で設計変更する「労働者確保に関する積算方法の工事」である。 営繕費:労働者送迎費、宿泊費、借上費 労務管理費:募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用 2 本工事の予定価格の算出の基礎とした設計額(宮城県土木部においては、土木工事標準積算基準に基づき算出した額)における実績変更対象間接費の割合は次のとおりである。 1) 共通仮設費(率分)に占める実績変更対象間接費(労働者送迎費、宿泊費、借上費)の割合: 9.19% 2) 現場管理費に占める実績変更対象間接費(募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用)の割合: 1.24% 3 受注者は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて設計変更を希望する場合は、実績変更対象間接費に係る費用の内訳を記載した「労働者確保に係る実績報告書(様式1)」及び実績変更対象間接費について実際に支払った全ての証明書類(領収書、領収書の出ないものは金額の適切性を証明する金額計算書など。)を監督員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。 4 受注者の責めによる工事工程の遅れ等受注者の責めに帰すべき事由による増加費用については、設計変更の対象としない。 5 発注者は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて設計変更する場合、受注者が実績変更対象間接費について実際に支払った額のうち証明書類において確認された費用から、宮城県土木部においては土木工事標準積算基準(宮城県土木部)に基づき算出した額における実績変更対象間接費を差し引いた費用を加算して算出する。なお、全ての証明書類の提出がない場合であっても、提出された証明書類をもって設計変更を行うものとする。 6 受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合については、法的措置及び入札参加資格制限等の措置を行う場合がある。 7 受注者は、実績変更対象間接費にかかる設計変更について疑義が生じた場合は、監督員と協議するものとする。		
(2) 労働者宿舍設置に関する積算方法の試行工事	○ある	●ない	本工事は、「労働者宿舍設置に関する試行要領」(以下試行要領)の対象工事である。 労働者宿舍の設置を希望する場合については、「試行要領」に基づき監督職員と事前に協議すること。		
23 遠隔地からの建設資材調達に係る設計変更					
(1) 遠隔地からの建設資材調達に係る設計変更	●ある	○ない	下記の建設資材は、通常地域内から調達することを想定しているが、安定的な確保を図るために、当該調達地域以外から調達せざるを得ない場合には、事前に監督職員と協議するものとする。また、購入費及び輸送費に要した費用については、証明書類(契約書及び納品書等)を添付するものとする。なお、添付する証明書類(契約書及び納品書等)は原本を提示(写しの提出)とし、受注者名、納品者名、使用資材名、規格・形状、使用(納品)日、使用(納品)数量等が記載されている物を監督員に提出し、その費用について設計変更することとする。 購入費の対象は、生コンクリート・アスファルト合材・石材等(山砂、碎石、捨石、被覆石等)とする。 輸送費の対象は、仮設材(鋼矢板等)とする。	受注者は、購入費及び輸送費を変更したい場合は、「工事打合せ簿」に次の事項を記載し発注者に提出し協議するものとする。 1 地域内及び基地に、建設資材がないことを証明する資料(打合せメモ等) 2 遠隔地から購入及び輸送する建設資材の名称・規格及び製造・生産工場の名称(使用材料の建設資材名及び規格・形状等の証明資料「品質証明」) 3 遠隔地から建設資材を購入及び輸送する理由 4 製造・生産工場を選定した理由 5 見積もり書 6 その他、必要と思われる事項	
24 施工箇所が点在する工事の間接費の積算					
(1) 施工箇所が点在する工事積算方法の試行の対象工事	●ある	○ない	本工事は、施工箇所が点在する工事であり、共通仮設費及び現場管理費について標準積算と施工実態に乖離が考えられるため、「○○地区(施工箇所○○、○○)、△△地区(施工箇所○○)、□□地区(施工箇所○○)(以下、対象地区という)」ごとに共通仮設費及び現場管理費を算出する「施工箇所が点在する工事積算方法の試行」の対象工事である。	本工事における共通仮設費の金額は、対象地区毎に算出した共通仮設費を合計した金額とする。また、現場管理費の金額も同様に、対象地区毎に算出した現場管理費を合計した金額とする。なお、共通仮設費率及び現場管理費率の補正(大都市、施工地域等)については、対象地区毎に設定する。	
25 その他					
(1) 土砂等建設資材を供給元で引取する場合の積算の取扱い	○ある	●ない	・本工事の施工において、調達(購入)する予定の○○の設計単価は、現場持込価格(単価)としている。 ただし、契約後、施工計画に基づき、○○の調達条件について異なる場合は、監督職員と協議すること。 ・資材搬入において、標準作業以外の作業(現場外の仮置き等)が生じる場合は、監督職員と協議すること。		
(2) 東日本大震災の復興・復興事業等における積算方法等に関する試行について	●ある	○ない	間接工事費(共通仮設費及び現場管理費)について、工事量の増大による資材やダンプトラック等の不足による作業効率の低下等により現場の実支出が増大し、積算基準による積算と乖離が生じていることが確認されたため、積算基準書等により各工種区分に従って対象額ごとに求めた共通仮設費率及び現場管理費率に、それぞれ以下の補正係数を乗じている。 補正係数 共通仮設費:1.3 現場管理費:1.1		

特記事項

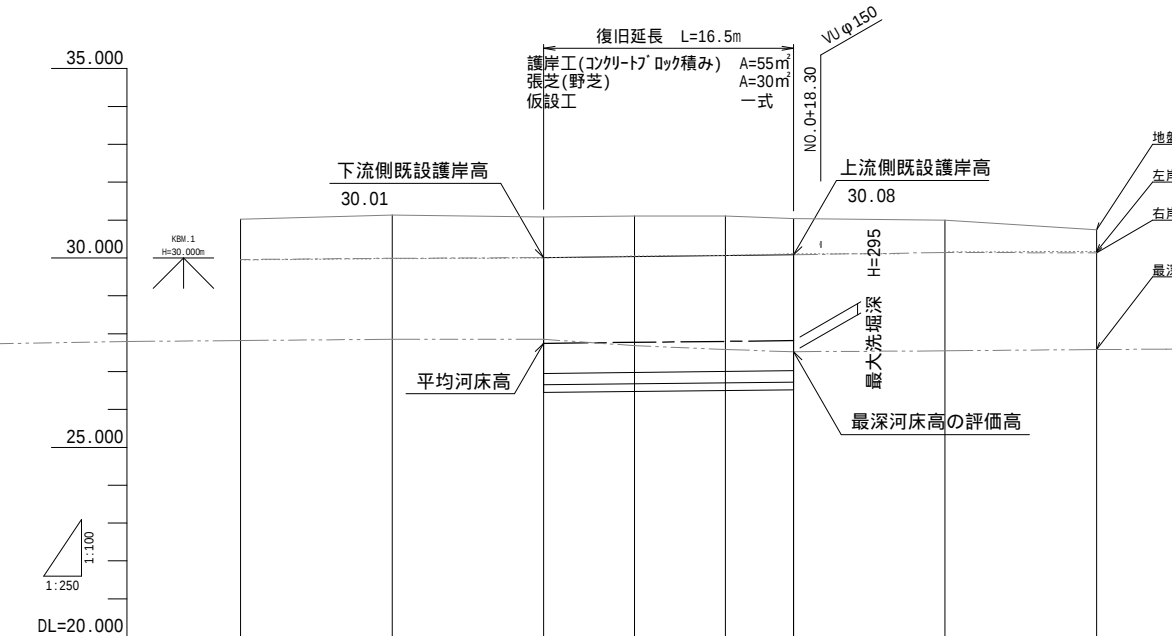
1 追加事項1 (交通管理工について)			
(1) 交通誘導警備員について	交通誘導警備員Bについて、16人計上しています。		
2 追加事項2 (使用資材について)			
(1) 大型化コンクリートブロック	サンエスⅠ型鉄平Ⅱと同等品以上とする。		
(2) 追加			
(3) 追加			
(4) 追加			
(5) 追加			
3 追加事項3 (施工歩掛について)			
(1) 追加			
(2) 追加			
(3) 追加			
(4) 追加			
4 追加事項4			
(1) 追加			
(2) 追加			
(3) 追加			
(4) 追加			
(5) 追加			
5 追加事項5			
(1) 追加			
(2) 追加			
(3) 追加			
(4) 追加			
(5) 追加			
6 追加事項6			
(1) 追加			
(2) 追加			
(3) 追加			
7 追加事項7			
(1) 追加			
(2) 追加			
(3) 追加			
(4) 追加			
(5) 追加			

平面図

S=1:250



縦断面図



勾配図								
計画堤防高								
計画護岸高			30.01	30.04	30.06	30.08		
平均河床高			27.75	27.77	27.80	27.82		
右岸護岸高	29.95	29.98	30.00	30.05	30.07	30.11	30.16	30.17
左岸護岸高	29.96	29.99	30.01		30.08		30.14	30.13
最深河床高	27.82	27.85	27.85	27.88	27.88	27.52	27.55	27.58
地盤高	31.02	31.13	31.08	31.11	31.11	31.04	31.00	30.74
追加距離	-20.00	-10.00	0.00	6.00	12.00	16.50	26.50	36.50
単距離	10.00	10.00	0.00	6.00	6.00	4.50	10.00	10.00
測点	-20.00	-10.00	NO.0	NO.0+6.00	NO.0+12.00	NO.0+16.50	+10.00	+20.00

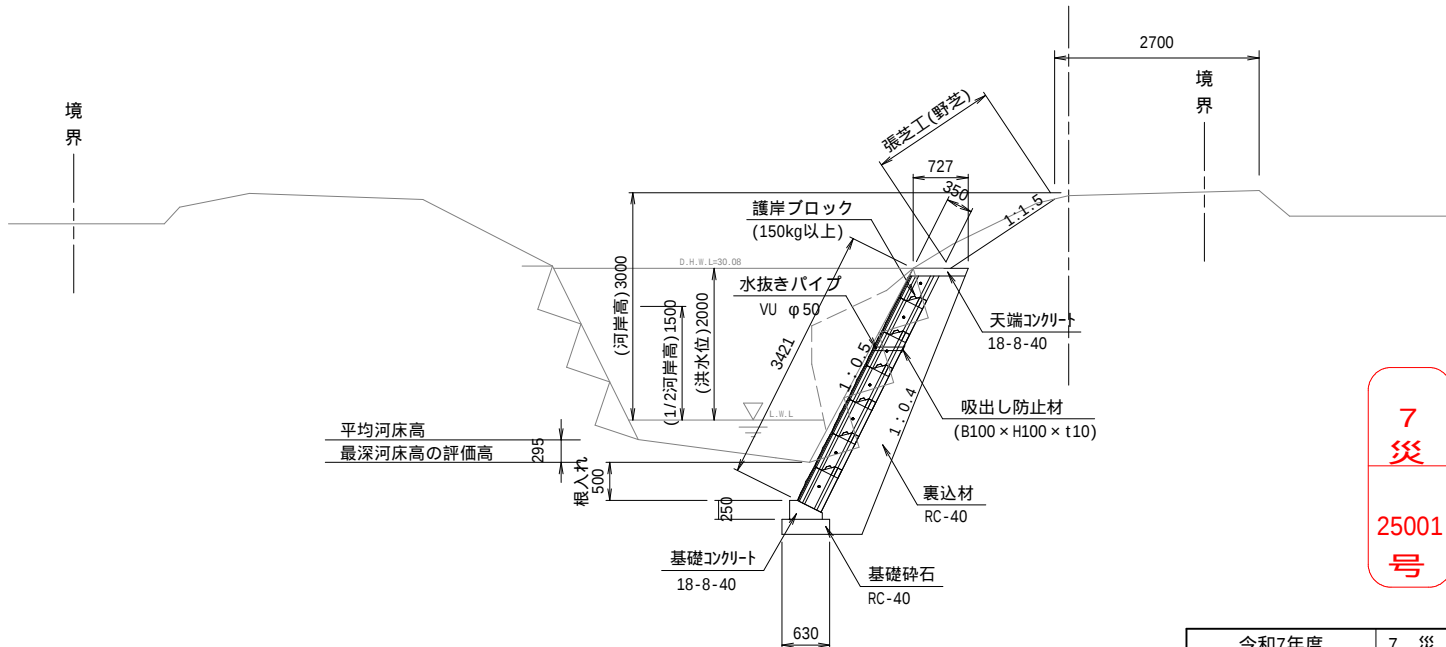
本図の標高は、任意標高である。

工事数量総括表

工種	細別	仕様規格	単位	数量	改め
土工	盛土		m³	6.0	6
法面工	張芝(野芝)		m²	30.9	30
護岸工	河川土工				
	コンクリートブロック積み	150kg以上	m³	54.6	55
	発生土処分		m³	47.0	50
	伸縮目地	10mm	m²	1.3	1
	水抜きパイプ	φ 50	m	6.4	6
仮設工	工事用道路	W=4.00m	m	48	48
	大型土のう		袋	4	4
	購入土及び残土処分		m³	3	3
	掛樋工	φ 500mm	m	21	21
	締切排水工		箇所	1	1

標準横断面図

S=1:50



7 災

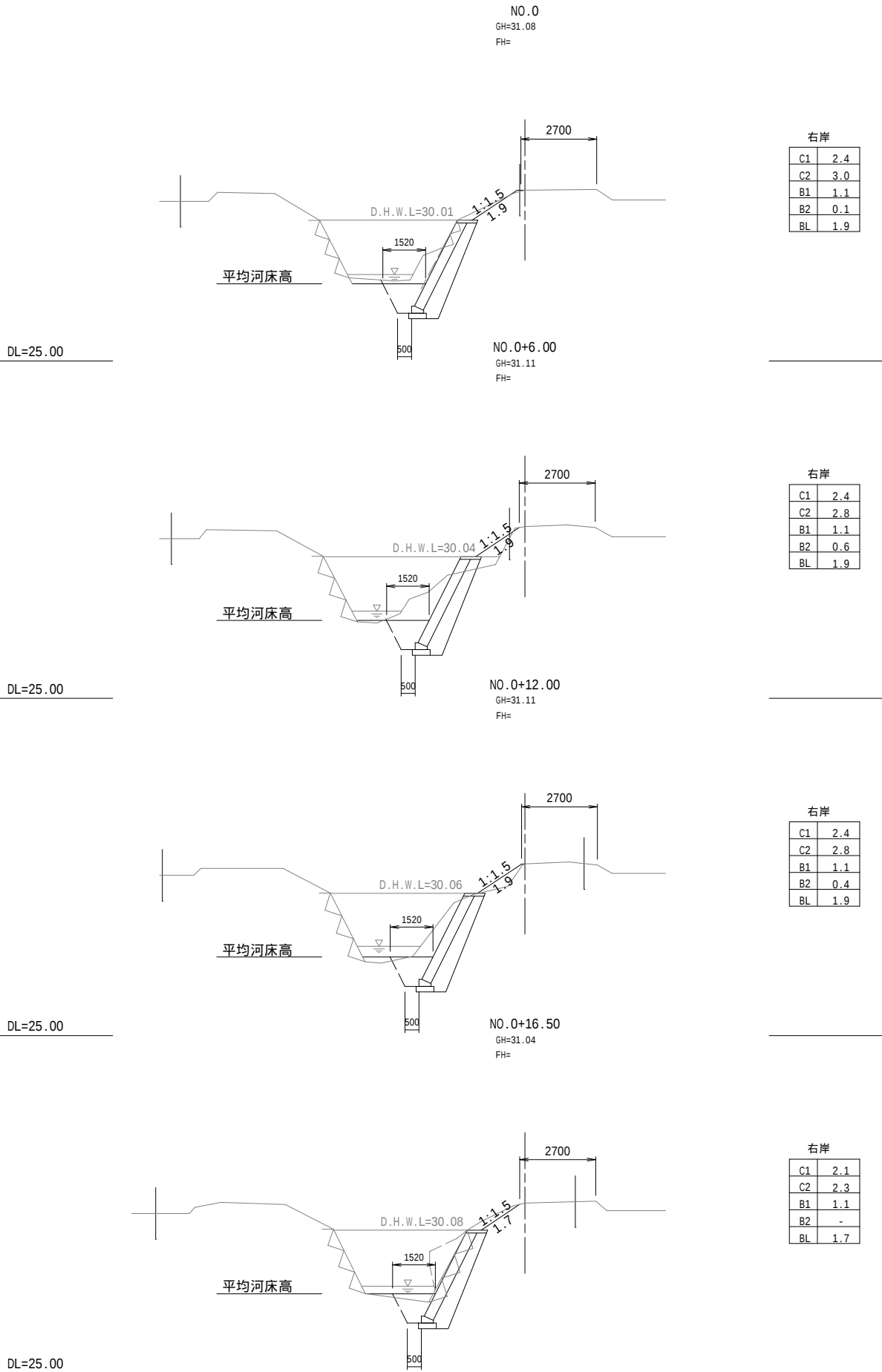
25001 号

査定

令和7年度		7 災 第 25001 号	
河 川 名	準用河川 沼田川 右岸筋		
施工位置	富谷市大亀		地内
工 事 名	河川災害・復旧工事		
平面図・縦断面図・標準横断面図			
縮 尺	図 示	全 4 葉の内 1 葉	
	設 計	製 図	
富 谷 市			

横断図

S=1:100

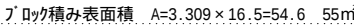


測 点		床 堀(C1)			堀 削(C2)		
		面積	平均面積	体積	面積	平均面積	体積
		(㎡)	(㎡)	(m ³)	(㎡)	(㎡)	(m ³)
No.0	0.00	2.4	-	-	3.0	-	-
+6.00	6.00	2.4	2.40	14.4	2.8	2.90	17.4
+12.00	6.00	2.4	2.40	14.4	2.8	2.80	16.8
+16.50	4.50	2.1	2.25	10.1	2.3	2.55	11.5
		合計		38.9	合計		45.7
測 点		埋戻(B1)			盛土(B2)		
		面積	平均面積	体積	面積	平均面積	体積
		(㎡)	(㎡)	(m ³)	(㎡)	(㎡)	(m ³)
No.0	0.00	1.1	-	-	0.1	-	-
+6.00	6.00	1.1	1.10	6.6	0.6	0.35	2.1
+12.00	6.00	1.1	1.10	6.6	0.4	0.50	3.0
+16.50	4.50	1.1	1.10	5.0	0.0	0.20	0.9
		合計		18.2	合計		6.0

7
災
25001
号
査
定

令和7年度		7 災 第 25001 号	
河 川 名	準用河川 沼田川 右岸筋		
施工位置	富谷市大亀		地内
工 事 名	河川災害・復旧工事		
横断図			
縮 尺	図 示	全 4 葉の内 2 葉	
	設 計	製 図	
富 谷 市			

S=1 ; 50



裹心材 $V=(0.345+0.691) \div 2 \times 3.460 \times 16.5\text{m}=29.6 \quad 30\text{m}^3$
(RC-40)

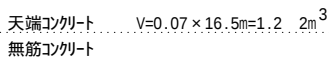
洞込材 $V=54.6 \times 0.18$ (割掛係数) $=9.8 \text{ } 10\text{m}^3$
(RC-40)

伸縮目地 $A=0.07+(3.309+3.484) \div 2 \times 0.35=1.3 \text{ m}^2$
($t=10\text{mm}$)

水抜きパイプ $L=16 \times 0.4=6.4$ 6m

吸出防止材 $A=0.10 \times 0.10 \times 16 \text{箇所} = 0.2 \text{ m}^2$

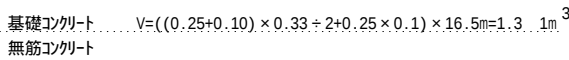
S=1 ; 20



天端コンクリート型枠 $A=(0.11+0.11) \times 16.5\text{m}=3.64\text{m}^2$
 小型構造物()

符号	底辺(下底)	高さ	倍面積
1	0.74	0.10	0.07
2	0.73	0.10	0.07
倍 面 積 (m2)			0.14
面 積 (m2)			0.07

S=1:20



基礎コンクリート型枠 $A=(0.25+0.10) \times 16.5\text{m}=5.8 \quad 6\text{m}^2$
 小型構造物()

基礎碎石 $A=0.63 \times 16.5\text{m}=10.4 \quad 10\text{m}^2$

基面整正 $A=0.63 \times 16.5\text{m}=10.4 \quad 10\text{m}^2$

S=1; 50



張芝、盛土法面仕上げ A=30.9 31m

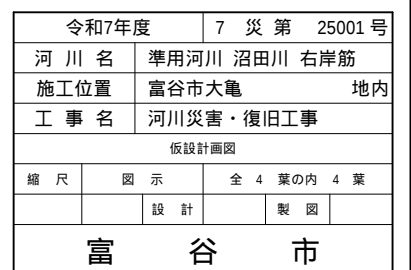
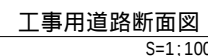
7
災

25001
号

查定

令和7年度		7 災 第 25001 号	
河 川 名	準用河川 沼田川 右岸筋		
施工位置	富谷市大亀		地内
工 事 名	河川災害・復旧工事		
標準図・展開図			
縮 尺	図 示	全 4 葉の内 3 葉	
	設 計	製 図	
富 谷 市			

S=1:200



No.	工 種	上段:種別 下段:細別	単位	数量	【全体工程表】											
					10/30	11/20	12/10	12/30	1/19	2/8	2/28	3/20				
					1	21	41	61	81	101	121	141				
					12/29～1/3(6日):年末年始休暇											
1	準備工	準備工	式	1	準備工_40日											
		準備工			1		40									
2	法覆護岸工	河川土工	m3	40			床掘り_1日									
		床掘り					41 41									
3	法覆護岸工	河川土工	m3	50			河床等掘削_1日									
		河床等掘削					42 42									
4	法覆護岸工	河川土工	m3	20			埋戻し_1日									
		埋戻し					43 43									
5	法覆護岸工	河川土工	m3	6			路体(築堤)盛土_1日									
		路体(築堤)盛土					44 44									
6	法覆護岸工	河川土工	m3	60			残土積込運搬_1日									
		残土積込運搬					45 45									
7	法覆護岸工	植生工	m2	30			法面整形_1日									
		法面整形					46 46									
8	法覆護岸工	植生工	m2	30			法面工 人力植生工(市場単価)張芝工_1日									
		法面工 人力植生工(市場単価)張芝工					47 47									
9	法覆護岸工	コンクリートブロック工	m2	55			大型ブロック積み工_10日									
		大型ブロック積み工					48 57									
10	仮設工	工事用道路工	式	1			工事用道路工_25日									
		工事用道路工					58		88							
11	仮設工	土留・仮締切工	袋	4						大型土のう製作・設置(7フレックレン設置)_1日						
		大型土のう製作・設置(7フレックレン設置)								89 89						
12	仮設工	土留・仮締切工	袋	4						大型土のう撤去_1日						
		大型土のう撤去								90 90						
13	仮設工	土留・仮締切工	m3	3						残土積込運搬_1日						
		残土積込運搬								91 91						
14	仮設工	土留・仮締切工	m	21						暗渠排水工_1日						
		暗渠排水工								92 92						
15	仮設工	土留・仮締切工	m3	0.1						処分費_1日						
		処分費								93 93						
16	仮設工	水替工	箇所	1						ポンプ設置・撤去_2日						
		ポンプ設置・撤去								94 95						
17	仮設工	水替工	日	6						ポンプ運転工(締切排水工)_15日						
		ポンプ運転工(締切排水工)								96 110						
18	後片付け工	後片付け工	式	1						後片付け工_20日						
		後片付け工								109 128						

「バーチャートは、土日、祝日期間を控除して表示されますが、

これらの抑制期間は雨休率に含まれていますので注意願います。」

上記工程は、積算上の工程であり実工程を制限するものではありません。